



市民活動を「生み」「育て」「支える」ために

～市民の会・パワーアップして2期目へ～

麻生まちづくり市民の会は、中間支援組織として、住みよいまちづくりを進めている市民や各種団体などの『活動の支援』を目的に、平成15年から活動を展開してきました。

平成18年4月からは『活動の支援』をさらに推進するため、2つの部会を中心とした組織を編成し、第2期の活動を開始します。

市民活動支援部会

～市民活動を支える環境整備～
交流する場の企画、合意形成に必要な技術の提供、会合の持てる場所などの調査・確保、各種ワークショップの企画・運営などに取り組みます。

まちづくり推進部会

～まちづくり活動の育成支援など～
地域課題などを発見し、裏方として地域の方々との連携を図りながら、活動を立ち上げ、軌道に乗った段階で独立させることに取り組みます。また「都市計画マスタープラン麻生区構想区民提案」の実現をめざし、「麻生まちづくり学校」の運営にも取り組みます。

第2期「麻生まちづくり市民の会」 会員募集します

説明会 日時：平成18年4月22日(土)11:00～12:00
会場：麻生区役所4階会議室

対象は

市民の会の設立趣意書(案)・会則(案)に賛同する方。
(設立趣意書(案)と会則(案)は区役所地域振興課にあります。)
麻生区在住または在勤の方、麻生区に活動拠点を持つ市民団体・グループ・企業などに属し、積極的に活動できる方。

申し込み方法は

まずは、設立趣意書(案)・会則(案)と解説をお読みください。
所定の申込用紙に記入の上、直接持参か、FAX、郵送、または、
E-mailで(メールの場合は、必要事項を本文に記入する)。

第2期麻生まちづくり市民の会準備委員会
事務局 地域振興課 電話:965 - 5116 FAX965 - 5201
e-mail:73tisin@city.kawasaki.jp

締め切りは

平成18年4月28日(金)必着!

市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

～ 麻生まちづくり市民の会 3年間の活動 ～

● 実践部会

部会長 田島秀夫

～人と街と環境を大切にす麻生のまちづくり～
当実践部会は平成15年度5、16年度7、17年度7と3年間で19企画も計画し、実施した。

部会はきわめて開かれた運営を心掛け、自由闊達な意見交換と他人の意見に謙虚に耳を傾け、最終的に決定されたことは頑なに遵守することを基本方針とした。

3年間にわたる3小委員会の活動では、次のように、大きな成果を上げることができた。

創造的な活動を目標に、緑・環境小委員会の「葉積緑地」の地元区民との愛護会の立上げ、「CO2削減活動」から川崎・ごみを考える市民連絡会との協働で「あさお生きごみ隊」の設立と活動、「山ゆり」を植栽して、百合ヶ丘の原風景の再現、道路・交通小委員会が「麻生区コミュニティーバス協議会」をインキュベート(孵卵)し、コミュニティーバス実現に懸命に努力しており、「都市計画道路真光寺・長津田線の整備促進」では岡上2町内会長さんと川崎市長に陳情した。また、「ひやり・はっ！と・マップ」では、区内16小学校長、PTA校外委員長他の協力により資料を収集、マップを700部印刷し、関係先へ配付した。また、麻生区全図(カラー)は、本年1,000枚印刷の上配付し、大変好評を得ている。福祉・コミュニティー小委員会は、住みよいコミュニティづくりという難題に挑戦し、各種の団体との交流会やフォーラムの開催、防災面からの切り口の突破など、努力を重ねた。以上の活動のキーワードは「創造」「先進性」「協働」「インキュベート(孵卵)」「ノスタルジア」「安全」「安心」「挑戦」など盛り沢山であった。末筆ながら、実践部会に暖かいご理解とご協力を頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

● パートナーシップ推進部会

部会長 角井美智子

当部会では、パートナーシップ(PS)型事業についての共通理解と認識を作る学習から始め、見学会も行った。行政とのPS型事業「上麻生隠れ谷公園WS、アートセンターWS」にも参加してノウハウの蓄積に努めた。市民発意型もあると、地域貢献施設検討グループが、旧あさひ銀行跡地にできる施設に市民意見が反映できないかと議論を進めた。又 課題検討グループは、地域の課題からPS型事業になるものを整理する作業に入った。

2～3年目に、は「(仮称)新しい市民利用施設市民検討委員会」の市民側事務局として運営に携わった。又 は課題の実行解決のケーススタディとして新百合丘駅周辺景観形成協議会が進めてきた「落書き消し」に参加し、活動を広めていく裏方として「あさお落書き消し隊」を協働で立ち上げ運営してきた。平成17年8月にデッキ周辺の落書き消しに取り組み、73名の参加があった。3年目に南口バスロータリーの配列に問題があると、バス停位置改善小委員会が800人以上のアンケート調査を取り、改善案を交通局、小田急バスに提案した。

当部会は裏方の仕事で部員も少ない中で、七つの企画を消化できたことは活動した部員の熱意と努力もあったが、様々な方の協力と励ましのおかげと感謝しています。

企画：上麻生隠れ谷公園再整備WS、PS事業研修・見学、アートセンター検討、PS推進部会の課題検討、(仮称)新しい市民利用施設検討のサポート、「あさお落書き消し隊」の立ち上げと運営、新百合ヶ丘南口バスロータリー「バス停位置改善」

● バックアップ部会

部会長 松本良樹

バックアップ部会の3年間の活動は次の4つの活動に分類されます。

区民活動支援ルームの運営

今から4年前の平成14年4月に開設された支援ルームを利用者と共に更なる発展を目指し自主運営を継続、利用者間の交流を図るため「活動紹介カード集」を作成しました。

また利用者からの要望に答え行政とも協議して夜間・土曜日の開室にも踏切りました。

一方、地域関連図書を整備し閲覧・貸出も出来る様にしました。現在200団体を越す利用登録者があり盛況を誇っています。

場の確保と情報提供

市民活動団体から会合や印刷など利用出来る場所がもっと沢山欲しいとの声に接し、既存施設(こ文、いこいの家、学校、町会・自治会館等)15ヶ所の施設を調査し冊子「市民活動の場ご案内」を作成し配布します。

交流会・学習会などの企画・実行

市民活動活性化のための支援(人材育成・ノウハウの提供等)を目的とし講師による講習会を開催。達人シリーズと銘打って都合12回にわたり実施しました。中でも「会議の達人になろう」はハンドブックを作成し配布しました。この達人シリーズは参加者からも大変好評でした。

パソコン活用レベルの向上施策

市民館が保有するパソコンを利用してWord、Excelなどの研修を14回にわたり実施しました。機種が古いため幅広い研修とはならなかったが一応の目的は果たせたように思います。

以上概略を記しましたがバックアップ部会の活動は概ね参加者からも受け入れられ好評であったと思います。

● 麻生まちづくり学校

代表幹事 白井 勇

麻生まちづくり学校は、都市計画マスタープラン麻生区構想の実現化方策の一つの形として、また、区民提案の推進組織として立ち上げられました。

平成16年4月に区民提案を提出以後新たな組織の準備と検討を重ね、「麻生まちづくり学校」として発足させるため、新たに都市マス検討委員を中心に、運営委員会を組織し平成17年3月に設立記念講演会「市民と協働でつくるまちづくり」を開催しました。4月からは学校の組織、活動内容等(カリキュラム)を運営委員会で討議、検討し、8月には参加者の募集を行い、運営委員20名、一般参加者22名の計42名で、9月から講座がスタートしました。

第1回(都市マスと地区計画について)、第2回(川越・国分寺市の視察)、第3回(交通について)、第4回(防災について)、第5回(環境について)、第6回(修了式)と6回の講座を行い、最終的にはその中で33名の方に講座修了者として、修了証を発行する事ができました。この方々だけでなく、参加されたすべての方が、今後の市民参加のまちづくりに尽力されることを期待して、今年度の活動を終了しました。

尚、今年度の「麻生まちづくり学校」は麻生区まちづくり市民の会の特命委員会として活動してきましたが、次年度以降は第2期まちづくり市民の会の部会の中で進める予定です。

ご協力いただきました多くの関係者の方々に感謝申し上げます。有難うございました。



第4回市民自治創造・かわさきフォーラム 地域力がテーマ

3月11日と12日麻生区市民館と区役所で開催



熱心に市民の活動を聞く川崎市長

1日目の全体会では「大事なことはボランティアで教わった」と題して、牟田悌三さんが自らの体験をもとに語った基調講演の後、パネルディスカッション「地域力のつけ方」に入り、長年各分野の活動で活躍中の市民パネリストに阿部市長も加わり、体験に基づく意見や要望など活発な意見交換が行なわれました。

2日目午前のエクスカッション(注)麻生を知る」では、歩くことで文化・みどり・まちづくりの現状を知っていただきました。午前・午後に分かれた4つの分科会では、各テーマ「当事者入門～バリアに気づききっかけ～」 「こどもに学ぶ～家



アピールに工夫をこらして

庭・学校・地域～」 「2050年元気であるかい か・わ・さ・き」 「ご近所のつながりづくり～私たちはこうやって実現した～」 について参加者は真剣に聴き、考え、話し合い、有意義な会となりました。

市民の会は、市内70団体が参加した「元気メッセ」でパネルや成果品を展示し、活動紹介、情報交換をしました。

その他にも、「市民いこいの広場」では、川崎の名産品が大集合。商・農が身近に感じられる催しや各作業所で働く人たちが製作した製品の展示・販売が行われるなど、多彩な催しが繰り広げられました。(注)小旅行、遠足

『区民会議』施行間近

区民会議は、平成17年4月に施行された川崎市自治基本条例に基づき、平成18年度の設置をめざして準備が進められています。市民意見を反映させた条例議案が市議会で審議、可決されれば4月1日から施行されます。

委員や課題の選定方法など各区で定める事

項についても、現在最終的な調整が進んでいます。なお、区民会議制度素案への市民意見(パブリックコメント)は全区で18件・個別意見総数112件が集まりましたが、その1/3が麻生区民からの意見で区民の関心が高いことがわかります。

<会議予定> 市民の会運営委員会、各部会は麻生区役所地域振興課事務局に連絡の上、どなたでも傍聴ができます

会員募集説明会(2006年4月22日11:00～12:00)

第2期市民の会準備委員会(2006年4月28日9:30～)

平成18年度会員総会(2006年5月22日午後)

編集後記 麻生まちづくり市民の会の広報紙として、3年間の任期を果たすことができました。町会・自治会のご協力のもとに回覧していただきました。関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、皆様から字や写真の大小、多少、取材方法等色々指摘されながら、好意と友情を加味した編集に全力を傾けてきた委員の皆さんの努力、特に忍耐力には改めて敬意と感謝を伝えたいと思います。長い間本当にありがとうございました。(広報委員長 碓井勝次)